

競争力の優位性

カナダはビジネスに積極的で外国からの投資を歓迎します。

- フォーブスおよびブルームバーグによれば、ビジネスに関してカナダはG20諸国中最高の国です。
- エコノミスト・インテリジェンス・ユニットは、2016年から2020年の5年間にビジネスを行う国としてカナダはG20諸国中最も優れた国であると述べています。
- 世界銀行によれば、カナダはG7諸国中最も起業がしやすい国です。
- カナダは2010年から2014年の間に受けた外国直接投資の人口1人あたりの額がG7諸国中最大でした。
- 2008年から2009年の景気後退後の事業投資増加状況は、カナダはG7諸国中群を抜く強さです。

カナダ経済は企業の革新、成長、成功を支える最高水準のものです。

- カナダの経済成長は過去10年間（2005～2014年）G7諸国中トップでした。
- カナダは2005年から2014年にG7諸国中最高の雇用増加を記録しました。
- カナダ経済は、近年の景気後退期における生産および雇用の減少分をすべて回復し、それ以上の成長を遂げています。
- 2009年6月の景気後退終結以降、カナダでは130万を超える雇用が創出されています。これは8.0%以上の増加で、そのうち80%以上が民間のフルタイムの仕事です。

カナダの財政の強さが企業運営の確実性をもたらします。

- 国際通貨基金 (IMF) によれば、GDPに対する純国家負債の比率は現在G7諸国中カナダが最も低くなっています。
- カナダの健全な財政の強さは、スタンダード・アンド・プアーズ、ムーディーズおよびフィッチによるトリプルA格付けにも反映されています。

カナダ経済の強さは世界で最も安定した金融産業によってさらに強化されています。

- 世界経済フォーラムは8年連続で、カナダの銀行制度は世界で最も健全であると発表しています。
- カナダの大手銀行6行が、グローバル・ファイナンス誌による北米で最も安全な銀行トップ10にランク入りしています。

カナダは低コストで税負担が軽い事業環境を提供します。

- KPMGによる事業コスト比較、Competitive Alternatives報告書（2016年）によれば、カナダにおける総合事業コストはG7諸国中最も低く、米国と比較すると14.6%低くなっています。
- KPMGによる税制比較、Focus on Tax（2014年）は、税制上の競争力でもカナダをG7諸国中トップに位置づけています。
- カナダはG20諸国中初めて全国を製造業無関税地域として、機械、機器、産業投入物に関する関税を段階的に縮小し、2015年に税率0%としました。
- カナダの連邦・州を合わせた一般法人所得税率は2015年には26.3%で、ほとんどの他G7諸国の水準より低く、米国よりは約13ポイント低い税率です。

カナダは世界屈指のコスト効率を誇る研究開発環境を提供します。

- カナダは、高等教育における研究開発支出がGDPに占める割合で、G7諸国中第1位です。
- カナダはG7諸国中最高水準の研究開発優遇税制を整備していることに加え、適用可能性についての高い確実性および企業の低い事務処理コストを実現しています。
- カナダの研究開発集約型産業はG7諸国中最も低いコストを享受することもでき、KPMGの2016年Competitive Alternatives 報告書によると米国より27.7%低コストとなっています。

カナダでは企業は高学歴で競争力がある労働力を活用できます。

- カナダの労働人口は経済協力開発機構 (OECD) 加盟国中最も高い教育水準を備えており、25歳から64歳の人口のうち過半数が高校卒業より高い教育を受けています。
- 世界経済フォーラムの2015年人的資本指数によれば、質の高い労働力に対する企業ニーズを満たす点でカナダはG20諸国中最高です。
- カナダ国民は言語の多様性に富んでいます。5人に1人はカナダの公用語である英仏語いずれかに加えて他の言語を話すことができ、そのような言語は合計200種を超えます。

カナダは生活し人生を謳歌する場所として優れています。

- 世界銀行によれば、人口1人あたりのGDPで測定した生活水準で、カナダはG7諸国中第2位です。
- OECDの「より良い暮らし指標」では、住居、収入、職、環境、教育、健康などを含む様々な指標を基にした全般的な居住条件および生活の質について、カナダはG7諸国中トップです。
- ヘリテージ財団によれば、豊かな社会のための経済的自由がある国としてカナダはG7諸国中第1位です。

カナダを世界につながるゲートウェイとしてご利用ください。

- カナダで最も大きい20の都市のうち16は米国との国境から車で90分以内の場所にあり、1日あたり20億米ドル以上の規模である米加貿易を下支えています。
- カナダは北米自由貿易協定 (NAFTA) 加盟国であるため、カナダへの外国投資家は、ほぼ20兆米ドルに上るGDP、4億8000万人の消費者を擁する北米市場に優先的なアクセスが確保できます。
- カナダ・欧州貿易協定の発効後、カナダで事業を行っている企業には欧州連合および北米の市場に対する優先的アクセスが保障されます。これは、合計約10億人の消費者と、39兆米ドルのGDP、すなわち世界の物品・サービス生産のおよそ半分にあたる規模の市場へのアクセスを意味します。
- 所得税と関税の輸出関連プログラムにより、カナダは他諸国の外国貿易地域 (FTZ) と同等の優遇措置を企業に対して提供しますが、外国貿易地域とは異なり、カナダの制度では立地が限定されない利点があります。